

その他兵庫県の取組について

令和8年3月18日（水）
兵庫県環境部環境整備課

大阪湾フェニックスの3期事業（神戸沖埋立処分場）に向けた取組の方向性

- 大阪湾圏域での廃棄物の適正な海面埋立による生活環境の保全と港湾の秩序ある整備による地域の均衡ある発展を目的として、「大阪湾フェニックス事業」を促進。
- 現基本計画（R4.8変更認可）では、2期処分場である神戸沖、大阪沖処分場において、それぞれ令和12年度、14年度には受入れ終了予定。このため、次期処分場は神戸港と大阪港で検討。このうち神戸港について、具体化に向けた検討を先行実施。

検討結果

当初案

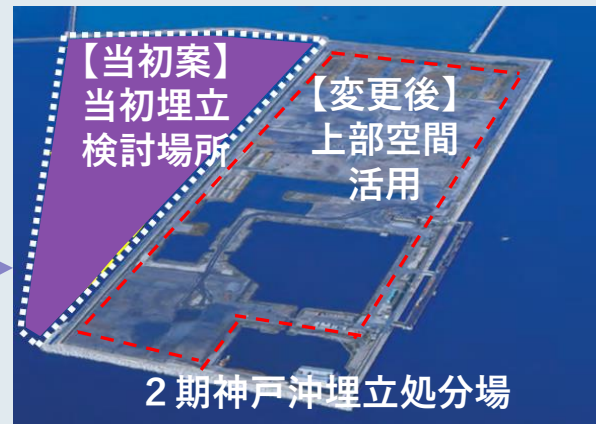
3期処分場は2期処分場の西側海面を埋め立て

工事費の高騰
廃棄物量の減少等

変更案

2期処分場の上部空間を活用して嵩上げ

六甲アイランド



R6末時点（埋立86.4%、残容量204万 m^3 ）

【3期処分場の事業手法】

- ①受入期間：20年間（R13年度～R32年度）
- ②受入方法：2期処分場の上部空間活用

環境審議会への意見聴取

- 大阪湾フェニックスセンターの「大阪湾圏域広域処理場整備基本計画」の変更案について、**各地方環境審議会（2府4県）**及び各地方港湾審議会に対して意見聴取を予定。

第11期兵庫県分別収集促進計画の策定

- 食料品や生活用品などの容器や包装のリサイクルを進めるため、容器包装リサイクル法第9条第1項に基づき、都道府県は3年ごとに5年を一期とする「都道府県分別収集促進計画」を定めることとされている。
- このたび、令和7年11月に、令和8年度から令和12年度までの5年間の本計画（第11期）を策定した。

計画の概要

- **計画期間**
令和8年度から令和12年度までの5年間
- **計画の対象品目**
以下の10品目+製品プラスチック
 - ・缶類（スチール缶、アルミ缶）
 - ・びん類（無色・茶色・その他ガラスびん）
 - ・紙類（紙パック、段ボール、その他紙製容器包装）
 - ・プラスチック類（ペットボトル、その他プラスチック）

計画の目標

- 県内各市町が策定した分別収集計画に記載された数値を取りまとめ、集約した合算量（見込値）を目標値とした。
- 分別収集率の低い「その他紙製容器包装」「その他プラスチック製容器包装」「紙パック」について、さらなる分別収集の向上を図る必要がある。

区分	実績	目標	
	R5年度	R10年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
容器包装廃棄物10品目を分別収集する市町の割合	100%	100%	100%
容器包装廃棄物の分別収集量	126,522t	115,795t	114,163t
容器包装廃棄物の排出量(推計)	268,814t	252,629t	248,979t
容器包装廃棄物の分別収集率	47.1%	45.8%	45.9%

区分	実績	目標	
	R5年度	R10年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
スチール缶	65.6%	72.6%	72.8%
アルミ缶	67.3%	77.6%	77.4%
無色ガラスびん	53.9%	56.4%	56.6%
茶色ガラスびん	59.1%	58.9%	59.4%
その他ガラスびん	67.9%	73.7%	74.3%
紙パック	13.8%	19.4%	19.4%
段ボール	92.0%	75.9%	76.0%
その他紙製容器包装	17.8%	21.0%	20.9%
ペットボトル	77.5%	78.4%	78.4%
その他プラスチック製容器包装	28.3%	24.2%	24.1%
合計	47.1%	45.8%	45.9%